ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-1(NO.21)	調査位置				北　緯	36 ° 50 ' 49.0000 "
発 注 機 関	栃木県大田原土木事務所　企画調査部			調査期間	2008-01-22 ～ 2008-01-23	東　経	140 ° 03 ' 17.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者	ボーリング責任者
孔 口 標 高	199.80 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °
総 掘 進 長	15.45 m	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポ ン プ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	199.15	0.65	0.65		シルト (M)	黒褐		軟らかい	0.30m付近まで耕作土 植生根・腐植物混入 含水比・粘性中位		
1～5	194.60	4.55	5.20		ローム (Lm)	茶褐～赤茶褐		軟らかい	火山灰質粘性土 植生根・腐植物混入 含水比上位・粘性中位 4.40m付近まで軽石粒・砂分混入 以深、粘性上位となり均質 5.00m付近よりスコリア粒散在し やや固結状		
5～13.05	194.40	0.20	5.40		スコリア (Sc)	赤褐		軟らかい	粒径φ1～3mm程度で砂分混入		
					ローム (Lm)	茶褐～赤茶褐～暗茶褐～淡茶褐		軟らかい	火山灰質粘性土 腐植物多く混入 含水比・粘性上位 赤褐色の軽石粒・スコリア粒散在 7.60m付近より粘性下位になり半 固結状呈す 8.70～9.80m間は砂質状呈す 所々に中～粗砂分混入 下部は風化礫散在		
13～15.45	186.75	7.65	13.05		粘土混じり砂礫 (GS-C)	灰茶褐	中ぐらい		礫は径φ10～30mm程度の風化礫主体 マトリックスは細粒土主体に中～粗砂混入 14.60m付近より細粒土分多くなる 自立する		
	184.35	2.40	15.45								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45					
2.15	1／15	1	1	3／35	3
2.50					
3.15	1	1／20		2／30	2
3.45					
4.15	2	2／15	1	5／35	4
4.50					
5.15	1／15	1／15		2／30	2
5.45					
6.00	00／50			00／50	0
6.50					
7.15	1	1	1	3／30	3
7.45					
8.15	1	1	1	3／30	3
8.45					
9.15	1／15	1	1／5	3／30	3
9.45					
10.00	00／45			00／45	0
10.45					
11.15	1	1／20		2／30	2
11.45					
12.00	00／35	1		1／45	1
12.45					
13.15	11	12	11	34／30	34
13.45					
14.15	22	20	8／5	50／25	>50
14.40					
15.15	9	8	9	26／30	26
15.45					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		5.50～6.35	1-1		物理試験，力学試験	01/22
						01/23